

北大-産総研合同シンポジウム

本年4月 本センターは、産業総合研究所（産総研）の協力の下、コーポレートユニット 産官学連携ユニット（代表：福岡淳教授）を創設し、産総研触媒化学融合研究センターの佐藤一彦先生、富永健一先生に本ユニットの客員教員になっていただきました。産総研と本学とは10年前に連携協定を結び、教育・研究連携を行っておりますが、今回触媒化学分野でさらに連携を強め、持続社会実現に必要な革新的スマート触媒開発をめざすことになりました。その手始めとして、9月29日に北海道大学で産総研と北大の合同シンポジウム“持続可能社会を築く触媒技術の可能性”を開催いたしました。

産総研の矢部理事をはじめ産総研からは20名、北大は川端理事以下20名と学生・外部から、総計63名の参加を得ました。

別添示したプログラムにありますように、前半はそれぞれの最先端研究を紹介しあい、後半は、大学、研究所の知的財産の産業化というテーマで議論をいたしました。口頭発表の後はポスター発表を行い、それぞれのアクティビティーに関して議論を展開しました。また平行して、理事同士による連携協議会を開催し、人事交流を含め強固な連携を進めていく方向で両者の一致を見ました。今後の産官学連携の深化が、我が国における革新触媒イノベーションを加速するものと期待しています。



佐藤 産総研 触媒化学融合研究センター長（北海道大学触媒化学研究センター 客員教授）



シンポジウム後の集合写真



産総研—北海道大学連携協議会